

群馬県文化振興基金の活用状況について（H25実績及びH26予定）

I 平成25年度事業実績

1 基金の収支について

群馬県文化振興基金は、平成24年4月に既存の3つの文化関係基金（国民文化祭・地域創造基金、群馬県芸術文化振興基金、群馬県美術品等取得基金）を統合し、一体的・総合的に活用できるよう、新たに設置された基金である。

平成25年度は、文化振興指針に掲げる目標を達成するための施策の財源として活用し、24,379千円を取り崩した。

(円)

区 分	平成25年度実績
基金創設	590,208,000
前年度繰り越額	567,923,765
収 入	7,652,811
利息収入	4,443,999
事業収入	0
寄附	3,208,812
その他	0
支 出	24,378,567
(1) 伝統文化継承事業	9,403,040
(2) 東国文化周知事業	3,243,014
(3) 文化づくり支援事業	7,488,000
(4) 映画・映像文化振興	450,351
(5) 上毛かるた活用事業	958,020
(6) はじめての文化体験事業	910,954
(7) 教育・芸術文化団体助成	1,925,188
基金増減額 (H25 収入－H25 支出)	△16,725,756
基金残額 (H26.5.31 現在 H25 事業清算後)	551,198,009

2 基金の運用状況について

(円)

区 分	運用期間	積立額	利子収入
スーパー定期	H25.3.29～H25.5.31	65,585,735	3,509
スーパー定期	H25.5.31～H25.11.29	47,719,247	5,948
譲渡性預金	H25.11.29～H26.3.31	45,675,257	3,816
譲渡性預金	H25.3.29～H26.3.31	120,280,000	42,302
債券運用	H25.3.29～H26.3.31	400,000,000	4,388,424
平成25年度 利子収入合計			4,443,999

*スーパー定期 …銀行の定期預金のひとつ。途中解約できる。

*譲渡性預金…銀行の定期預金のひとつ。満期まで解約できない。

*債券運用 …国債や地方債を購入する運用方法。満期まで解約できない。

3 基金活用事業について

(1) 伝統文化継承事業

地域の伝統・文化・風習を復活させることで、人と人との絆をしっかりと保ち、安全・安心な社会が形成され、豊かな郷土づくりにつなげることを目的に実施した。

① 群馬のふるさと伝統文化支援事業補助金

地域の伝統・文化・風習を復活させ、人と人との絆を深め、安心な地域社会を再生するため、県内各地域で伝統文化を守り、伝え、育てていこうとする継承活動に対し、補助金を交付した。

- ・申請件数 54件
- ・支援事業件数 43件 (申請のうち不採択9件、取り下げ2件)

(内訳)

伝統文化映像記録事業	3件
伝承者育成事業	3件
伝統文化継承活動事業	31件
こども伝統文化継承事業	6件
地域伝統文化サポーター事業	0件

② 伝統文化継承コーディネート事業 (委託)

(公財) 群馬県教育文化事業団に委託し、専門知識・人脈を活かした具体的支援を実施した。

<委託内容>

- ・「群馬地域文化マップ」の運営
マップデータの更新及び、市町村への調査の実施。
- ・ぐんま伝統文化継承委員会の開催
伝統文化が継承されるための支援や方向性を専門的見地から検討し、調査・モデル事業の内容や実施方法等を設定した。
- ・ぐんまの伝統文化調査の追跡・補完
平成20年度に実施した県内市町村の伝統文化実態調査の5年後の追跡調査を行った。また、新たな伝承等の局面を持つ地域を選定し、実地調査を行い報告書を作成する。
- ・伝統文化継承モデル事業の実施
調査結果を踏まえ、篠笛の後継者育成事業、学校教育との連携事業、伝統文化の映像上映事業を行った。

(2) 東国文化周知事業

古代から東国文化の中心地として脈々と続いてきた歴史と文化を備えた、多彩な魅力に満ちた地域であることを県内外に周知した。

(2) - 1 歴史文化遺産の情報発信・人材育成

○文化遺産ガイドボランティア養成講座

群馬県が全国に誇る歴史文化遺産の価値を正しく伝え、情報発信できるガイドを養成することを目的に連続講座を開催。

ア 連続講座「古代」

- ・内 容：県内で出土した埴輪、金銅製品、石造物をテーマにした連続講座
- ・日 程：10月12日（土）～3月8日（土）
（全9講座、現地視察1日含む）
- ・会 場：群馬県庁2階 ビジターセンター
- ・受講者：110人

イ 連続講座「中世」

- ・内 容：中世の荘園・文化・城・信仰等をテーマにした集中講座
- ・日 程：3月24日（月）～3月26日（水）
（全5講座、現地調査1日含む）
- ・会 場：群馬県庁2階 ビジターセンター
- ・受講者：35人

(2) - 2 普及啓発事業

① 東国文化周知イベント

ア 第2回古代東国文化サミット～ググッとぐんま大室古墳フェスタ～

- ・日 程：11月24日（日）
- ・場 所：大室公園（前橋市）
- ・内 容：古代劇「ぐんまの物語～東国の絹風～」公演、古代体験コーナー、毛の国市場（飲食、物販）、スタンプラリー等
- ・来場者：約25,000人

イ 古代東国文化シンポジウム「東アジアから見た前二子古墳」

- ・日 程：11月2日（土）
- ・場 所：前橋市総合福祉会館
- ・内 容：記念講演、基調報告、基調講演、パネルディスカッション
- ・来場者：約200人

ウ 第4回上野国分寺まつり

- ・日 程：10月27日（日）
- ・場 所：上野国分寺跡（高崎市東国分町ほか）
- ・内 容：雅楽の演奏会、天平の衣装行列等
- ・来場者：1,758人

エ 史跡上野国分寺跡シンポジウム「地域と生きる上野国分寺」

- ・日 程：3月30日(日)
- ・場 所：高崎市市民活動センターソシアス
- ・内 容：講演、事例報告、討議
- ・来場者：約100人

② 群馬の歴史文化遺産を巡るモデルツアー

群馬県が全国に誇る数多くの歴史文化遺産を、県内外多くの方々に知ってもらい、観光振興につなげていくため、解説付きの日帰りバスツアーを開催した。

- ・参加者：136人（うち県外参加者14人）
- ・日 程：10月20日(日)～11月24日(日)
(8日間・全8コース)

③ 上野三碑普及啓発事業

ア 上野三碑シンポジウムの開催

古代の文化や政治の動きを今に伝える貴重な記憶遺産である上野三碑について、歴史的な価値や意義を専門家が語り合うシンポジウムを開催した。

- ・日 程：3月29日(土)
- ・会 場：吉井文化会館
- ・参加者：250人
- ・内 容：○基調講演 前澤和之氏 「上野三碑の魅力とは」
○講演1 橋本 繁氏 「朝鮮半島の石碑と上野三碑」
○講演2 佐藤 信氏 「古代の東国社会と上野三碑」
○討議
テーマ「上野三碑の魅力をどのように伝えるか」
パネラー 佐藤 信氏（東京大学大学院教授）
橋本 繁氏（早稲田大学非常勤講師）
熊倉浩靖氏（群馬県立女子大学教授）
前澤和之氏（館林市史編さんセンター専門指導員）
司会進行 神保侑史氏（元多胡碑記念館館長）

(3) 文化づくり支援事業

群馬県文化振興指針の重点施策を、長期的な展望をもって、総合的かつ効果的に推進するため、「群馬の文化」の形成につながる地域での多様で創造性豊かな文化活動に対して、財政的・人的支援を行う。また、第三者機関による事前・事後評価を実施し、文化フォーラム等で紹介することにより普及・発信を図るとともに、継続的な支援を行う。

○ 「群馬の文化」支援事業

指針に規定する重点施策である「文化力の向上」「次世代を担う子どもたちが文化芸術に触れる機会の充実」「地域の文化資産を活かした観光・地域振興」の3つを、長期的な展望をもって総合的かつ効果的に推進するため、市町村の他、NPO法人や県域文化団体等に対して補助金を交付した。

- ・申請件数 28件
- ・交付決定件数 21件 (申請のうち不採択6件、取り下げ1件)

(内訳)

文化力向上事業	10件
次世代育成事業	6件
文化資産発掘活用事業	5件

(4) 映画・映像文化振興

地域における多様な映画を上映・鑑賞する機会を提供することで、映画の文化的価値を再認識するきっかけをつくること、また、地域で芽生えた映画・映像への取り組みを地域づくり・地域活性化につなげていくことを目的に平成20年度から「地域における映画上映推進事業」を実施してきた。

平成24年度からは、県民に芸術性の高い映画等の上映・鑑賞機会を提供するためNPO法人をはじめ県民と協働し事業を実施する方法に見直した。

① 中高生のためのシナリオワークショップ

「第1回 GUNMA マンガ・アニメフェスタ」との連携事業として、アニメ、マンガ原作、小説や映画などに興味のある人を対象としたシナリオ作成のワークショップを開催した。

- ・日程：2月11日(火・祝)
- ・会場：ベイシア文化ホール
- ・内容：「初心者のためのシナリオワークショップ」を開催した。

なお、作成したシナリオの中から作品を選出し、実写化したものを「ぐんま学生映像まつり2014」で上映した。

- ・講師：藤橋誠氏

② ぐんま学生映像まつり2014

県内の学生の映画・映像振興を目的として、新作映画及び映像を上映し、専門家による批評及び対談を行った。

- ・日 程：3月21日（金・祝）
- ・会 場：群馬会館ホール
- ・入場者：120人
- ・内 容：作品上映会及び批評、対談。
 - ・高校生制作作品
 - ・「メディアキャンプ in 群馬」制作作品（富岡のCM）
 - ・「初心者のためのシナリオワークショップ」制作作品

③ メディアキャンプ in 群馬

群馬の地域の魅力をCMで表現することを通じて、映画制作技術を身につけるとともに、学生の活動・交流の場を創出した。

- ・日 程：12月26日（木）～29日（日）
- ・主 催：メディアキャンプ in 群馬実行委員会
- ・場 所：富岡市、甘楽町
- ・内 容：グループワークによるCM制作
 - ・テーマ 映像で紡ぐ絹のまち～世界のトミオカへ～
 - ・講 師 藤橋誠氏

（5）上毛かるた活用事業

上毛かるたの著作権及び商標権が（財）群馬文化協会から群馬県に無償で譲渡されたことを受けて、上毛かるた競技県大会は、県・県教育委員会・群馬県子ども会育成連合会の三者での主催事業となった。そのため競技県大会で使用する「優勝旗」及び「優勝杯」を、新たに制作した。

（6）はじめての文化体験事業

優れた文化芸術活動を行っている県内のアマチュア文化団体を「有償ボランティア」として学校等に派遣し、当該アマチュア団体が策定したプログラムに基づき、子ども向けの公演、講話、実技披露、ワークショップ等を行った。

<平成25年度事業実績>

登録団体数：26団体

派遣団体数：13団体（実25団体）

ギター演奏、手品の実演・体験、バルーンアート、和太鼓、紙芝居、等

派遣箇所数：25箇所

幼稚園、保育園、小学校、児童館等

参加人数：2,970人

(7) 教育・芸術文化団体助成

① 県展山崎種二記念特別賞

群馬県の芸術振興・奨励を図ることを目的に、県展三部門（美術・書道・写真）に山崎種二記念特別賞を設定し、賞を授与している。受賞作品は広く県民に紹介している。

・受賞者：3名（美術部門1名、書道部門1名、写真部門1名）

② 芸術文化団体補助金

群馬県文化協会連合会は、地域文化フェスティバル、研究集会、先進地視察、事業の共催・後援、会員への情報提供などを行う団体である。群馬県の文化の振興に大きく貢献していることから、補助金を交付した。

Ⅱ 平成26年度実施事業

1 基金の収支について

平成26年度は、文化振興指針の重点施策の推進を図るにあたり、課題として取り組むべき事業に基金を活用する。

(円)

区 分	平成26年度見込み
前年度繰越金	551,198,009
収 入	10,426,000
利息収入	4,161,000
事業収入	6,265,000
寄附	0
その他	0
支 出	34,958,000
(1) 伝統文化継承事業	9,429,000
(2) 東国文化周知事業	2,013,000
(3) 文化づくり支援事業	10,087,000
(4) 映画・映像文化振興	506,000
(5) 上毛かるた活用事業	5,532,000
(6) はじめての文化体験事業	1,000,000
(7) 教育・芸術文化団体助成	1,691,000
(8) 美術品の購入	4,700,000
基金増減額 (H26 収入－H26 支出)	△24,532,000
基金残額見込 (H27.5.31 現在 H26 事業清算後)	526,666,009

2 基金の運用状況について

(円)

区 分	運用期間	積立額	利子収入
譲渡性預金	H26.3.31～H26.5.30	63,000,000	2,589
譲渡性預金	H26.5.30～H26.11.28	43,000,000	5,330
譲渡性預金	H26.11.28～H27.3.31	40,000,000	3,397
譲渡性預金	H26.3.31～H27.3.31	100,000,000	27,200
債券運用	H26.3.31～H27.3.31	400,000,000	4,122,410
平成26年度 利子収入合計			4,160,926

* 譲渡性預金…銀行の定期預金のひとつ。満期まで解約できない。

* 債券運用…国債や地方債を購入する運用方法。満期まで解約できない。

3 基金活用事業について

(1) 伝統文化継承事業	予算額 9, 429 千円
・ 県内各地に伝わる伝統芸能や祭り等を継承する事業を支援	
(2) 東国文化周知事業	予算額 2, 013 千円
・ 歴史文化遺産を巡るモデルツアー、東国文化周知イベント等の開催	
(3) 文化づくり支援事業	予算額 10, 087 千円
・ 市町村や文化団体等が行う広域的で文化的な活動への支援	
(4) 映画・映像文化振興	予算額 506 千円
・ 実行委員会を立ち上げ、上映機会の少ない優れた作品を紹介	
(5) 上毛かるた活用事業（新規事業）	予算額 5, 532 千円
・ 上毛かるた及び関連書籍の発行及び有償頒布	
(6) はじめての文化体験事業	予算額 1, 000 千円
・ はじめての文化体験事業	
(7) 教育・芸術文化団体助成	予算額 1, 691 千円
・ 県展山種記念特別賞（1, 266 千円）	
・ 県文化協会連合会への助成（425 千円）	
(8) 美術品の購入（新規事業）	予算額 4, 700 千円
・ 着物2点（近代美術館）	

4 新規事業について

【新規】上毛かるた活用事業

上毛かるたを発行していた(財)群馬文化協会の解散に伴い、H25.10.28 付けで、著作権及び商標権は群馬県に譲渡された。県では協会の意思を継いで、上毛かるたの発行や競技県大会の開催支援などを行うこととした。

上毛かるたは、群馬県特有の文化として、その活用を図ることが指針にも掲げられており、また、これまでも基金を活用して副読本を発行してきた経緯から、上毛かるたの発行は文化振興基金を充てることとし、発生する書籍販売収入は基金に積み立てる。

【新規】美術品の購入

課題となっていた美術品の購入について、26年度に2点の購入を実施。

なお、購入は美術館・博物館等からの購入希望に基づいて、あらかじめ予算化した上で行うものである。